



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長:石原 妙生 **副会長**:川村 紳一 **幹事**:波多野 篤志 **クラブ会報委員長**:吉田 和也

2016~2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016~2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1884回例会 2016年12月15日（木）

忘年例会 / 担当 会長・幹事・親睦活動委員会

前例会の記録

第1883回 2016年12月8日（木）

「台湾訪問を控えて」/担当 国際奉仕委員会

*ロータリーソング「我らの生業」斉唱

*会長あいさつ 石原妙生会長

今年も12月1日にその年の話題となった流行語大賞が発表されました。今年の大賞は「神ってる」が選ばれました。プロ野球選手が、チームメイトの神がかった活躍を表現したのですが、皆さんはこの一年何か神がかったことはあったでしょうか？



神がかったことが起きるのは、全く偶然ばかりでなく、日頃の練習や努力、あるいは指導法などにより起きるのではないかと思います。

今日は2015・2016年の箱根駅伝を連覇した青山学院大学の原晋（すすむ）監督の話の一部を紹介したいと思います。青山学院大学、通称「青学」は2015年に優勝するまでは、強豪校と見なされていませんでしたが、連覇をしたり、勝ち方も鮮烈であったり、何より選手が楽しそうに走る姿に世間では驚きでした。

スポーツ・教育関係者からは「青学のスタイルはス

ポーツ指導・教育のあり方を変えた」という人も出てきました。

原監督は元実業団のランナーでしたが、成績は振るわず5年で引退し、会社の営業職に就くも失敗の連続でした。そして「組織の末端に追いやられた」と感じてから、発奮し、工夫を重ねトップセールスの業績を残し、ビジネスマンとして自信をつけた頃、監督の打診を受け自ら「できる」と確信したそうです。そして監督に就任し目指したのは、原監督の許（もと）で勝つ「常勝チーム」でなく“原さんが去っても”勝てるチームにすることです。

従来の名将は、神がかった采配や、眼力で試合の窮地を救い又、スーパーエースを作り監督の意のままに動くチームを作る様な人ですが、原監督は「スーパーエースを待つのでなく、時間をかけてチーム力の底上げをして優勝を狙う」という考えです。常勝の組織を作るには、メンバーの誰もが自分で判断し行動し、その結果に責任を持てるようにしなければいけない。

目指すは、チームとしてのビジョンや目標が明確化され、それがメンバー間でしっかりと共有されており、その目標を実現するために個々が何をすべきかを理解

し実践する事だそうです。

来年の正月も青学の箱根駅伝での三連覇を期待したいですね！

関商工もバトン部、ラグビー部の全国大会出場おめでとう御座います。

活躍を期待しております。

* 関商工先生ご挨拶

関市立関商工高校

副校長 服部弘幸先生

ロータリークラブに参加させて頂きありがとうございます。この度は台湾への訪問出来ますことを感謝申し上げます。生徒は大変楽しみにしております。ワクワクしております。このワクワクが柔軟性を持って台湾の地で新しい交流を繰り広げてくれるのではないかと考えております。

関商工では生徒が社会へ出て社会の即戦力として活躍できるように教育を実践しよう、そして幅広い進路に対応しようということで取り組んでおります。商業科の方は既に進学クラスが国公立大学を中心として合格者を出し、将来的には本市へ戻り活躍してくれるものと考えております。

工業科の方も進学グループなるものを作って、地元岐阜大学へ現在は1～3名ですが、3年後に大勢出したいと考えております。県内の他の工業高校では唯一出せるのが関商工なのですが、それを拡大して岐阜大学に行けば地元に戻ってくるという期待を込めまして、多様な進路に向けて生徒を教育しているところでございます。関商工の生徒について、また教育についてご注文がございましたら、なんでも言っていただき、本校の教育活動に関して益々のご支援をお願いしたいと思います。

IAC顧問 佐賀あゆみ先生

台湾交流に向けて学校の方では工業科の生徒4名、商業科の生徒7名で集まりまして、すでに3、4回会を開いております。自己紹介を英語ではもちろん中国語も練習して準備しております。こういった研修になるのかみんなワクワクしておりますが、日ごろの学校での生活が台湾でも生かされればと考えておりま



す。もう少し中国語を勉強したりして、準備をしていくところでもあります。また色々お世話になりますよろしくお願いします。

* 生徒発表「台湾訪問を控えて」

塚原 佑斗さん

僕は台湾へ行って台湾の文化を学びたいと思います。台湾の食文化や伝統的なものに触れて台湾独特のものを見て国の違いについて学ぼうと思います。



僕は建設工学科なので台湾の伝統的な台湾にしかないような建物の構造やデザインを見て学びたいと思います。デザイナーになりたいと思っているので、色々なデザインを見て自分の知識を増やして、将来台湾で学んだことが活かせるような仕事に就きたいと思いません。さらに同年代の学生がどんな生活をしているかも見たいと思います。日本との違いについてよく分かると思うので見てきたいと思います。最後に台湾に行つて、日本もグローバル化が進んで海外との交流が深まっているので、将来の仕事で外国人の方とも一緒に仕事ができるようになりたいと思います。

井藤 葉月さん

私は以前から海外の建物文化などに興味があり、進路の選択肢の一つに国際系も入っていました。今回の交流を通して台湾の方々やホームステイ先の方々と積極的に交流し、台湾の魅力や素晴らしさを学びたいと思っています。以前に景文高校の生徒と交流をしたのですが、改めて海外に行つて台湾の文化や建物などを学びたいと感じました。今回の交流を自分のチャンスとし、様々なことを学びたいと思います。文化だけではなく、台湾の歴史や日本との関係を学び、自分の財産となるよう台湾についての知識を深めるために参加したいと思っています。そして自分の価値観や世界観を広げ、これからの進路に役立てていきたいと思っています。このような機会を頂けたことを感謝し、何のために台湾に行くのかよく考えこの交流に臨みたいと思います。



北村 音寧さん

今回台湾留学へ行こうと思った理由は一言で言うと、海外旅行に興味があったからです。五月に景文高校の子達が関商工へ体験入学に来ま



した。私は書道部だったので、おもてなしとして、書道の体験をしました。そこで私は一人の女の子と仲良くなり、連絡先を交換しました。6月の私の誕生日の時には台湾から手紙を送ってもらいすごく嬉しかったです。今回、台湾景文高校に行かせてもらい、また会えたらいいなと思います。関商工の生徒はみんなワクワクしています。日本と台湾の文化の違いを自分の肌で体験し、周りの子達にも伝えたいと思います。

*台湾訪問の注意点など

山田文夫国際奉仕委員長

12月21日(水)～24日(土)まで、今回の参加者は生徒11名、先生2名、会員9名の22名で参加します。



台湾について、正式は中華民国といいます。面積は35980平方キロメートル、人口は2350万人、首都は台北、気候は17～23度くらいで日本の四月頃の陽気です。通貨は元で高額紙幣は1000円で約3.5倍と考えればいいと思います。時差が日本と1時間あります。親日家が多く治安もいいですが、単独行動は慎んで下さい。

(その他、持ち物、注意事項、送迎、日程について詳しく説明)

*出席委員会

会員数31名、本日の出席19名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

関商工 服部副校長を初め、関商工のみなさん本日の出席ご苦労さまです。「台湾訪問を控えて」発表よろしくをお願いします。

19名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

・例会終了後、理事役員会を行います。理事役員の方はご出席をお願いします。

*メイクアップ報告

12/5 会長・幹事会 石原妙生君、波多野篤志君

<次例会の案内>

第1885回 2017年1月12日(木)

新春例会・結婚記念例会

担当：会長・幹事・親睦活動委員会